



久留米市立三潴小学校 学校だより No.4

# ぎんなん

令和5年7月12日  
校長 原文也  
児童数 491名

本年度の重点目標 「主体的・協働的に取り組む子どもの育成」

## 1学期をふり返り、学習や生活のまとめを頑張っています

7月20日(木)が1学期の終業式です。子どもたちが登校してくる日が、残りわずか5日となりました。ついこの前、「1学期の半分以上が過ぎた。」「残り1カ月になった。」と思ったような気がします。年令を重ねるごとに、月日の流れは確実に早くなってきています。

さて、子どもたちは、これまで1学期の学校生活をふり返り、学習や生活のまとめを頑張っています。自分ができるようになったことや頑張ってきたことを、また、もっとできるようになりたいことや頑張りたいことを明確にして、子ども一人一人が目標をもって取り組んでいます。

さらに、6年生は最上級生として、三潴小学校をよりよい学校にしていこうと、ろうかを歩いて通ることを全校児童に呼びかけたり、自主的に運動場のごみ拾いをしたりしてくれています。どちらも、子ども自らが学校生活の課題を見つけ、その改善に向けて、学級や学年全員で取り組んでいます。本年度の合言葉「自分から進んで」「かかわり合う」を体現してくれている6年生を頼もしく思います。6年生のおかげで、以前に比べると、ろうかを走っている子どもの姿や落ちていたごみの量は確実に減っています。朝、門の所に立っていると、道端や運動場に落ちていたごみを拾って持ってくる子どもも増えてきました。6年生を中心に全校児童で、学校をよりよくしていこうと頑張っています。



## 「再発見、三潴の米！」田植えをしました(5年生)

5年生は、社会科の稲作の学習と関連させて、総合の時間に「再発見、三潴の米！」という学習を行っています。本年度も、JAみづま青壮年部の方々による支援を受けながら、米作りに取り組んでいます。

まず、5月29日(月)に種まきをしました。子どもたちが、欠かさず水やりを続けてきた結果、発芽した苗はすくすく成長し、15cmほどになりました。



そして、6月26日(月)が田植えでした。最初は、ぬかるんだ田んぼに戸惑っていた子どもたちも、苗を植えるにつれ、徐々に慣れてきて、最後の方は、楽しそうに笑顔で植えていました。子どもたちは、田んぼに植えた苗を見て、これからの稲の成長をととても楽しみにしていました。この日は、JAみづま青壮年部の3名の方々に、田植えの仕方を教えていただきました。ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

## 資源回収へのご協力ありがとうございました

6月4日(日)に、資源回収を実施しました。事前に、各地域で資源物の出し方や回収時間などを校区民の皆様にお知らせいただいたり、地域校外補導委員さんやPTA役員さんが、当日の流れや役割分担などについて打ち合わせをされていたので、学校では目立った混雑やトラブルもなく、スムーズに実施することができました。資源回収の収益金につきましては、子どもたちのために有効活用させていただきたいと思っております。ご協力いただきました、保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

# 学習参観(人権学習), 学級分会へのご参加ありがとうございました

6月29日(木)は、4月以来、2回目の学習参観、学級分会でした。子どもたちの学習の様子はいかがでしたでしょうか。大変ご多用の中、たくさんの方々にご参観いただき、ありがとうございました。また、その後の学級分会にもご参観いただき、あわせてお礼申し上げます。今回の学習参観は、全学級、人権学習を行いました。社会全般では、SNSでの他者攻撃(誹謗中傷)、弱い立場や少数者の方たちに対する差別や偏見が後を絶ちません。学校においては、一人1台学習用端末(Chromebook)の整備により、インターネット上の様々な情報の中から、真偽を主体的に判断し、必要なものを的確に選別・活用できる力を育てていく必要があります。このような状況だからこそ、私たち教職員は、人権・同和教育のあり方や自分自身の人権感覚を見つめ直し、その必要性や大切さを改めて確認し、人権学習を行いました。

参観当日の人権学習だけではなく、学校では日常的に、子どもたちが自他の大切さを認められていることを実感できるよう、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を行っています。それぞれのご家庭でも、機会をとらえて、自他の人権を大切にすることや差別は絶対に許されないことなどについて、お子さんとお話しいただけたらと思います。



## かけがえのない命を守る救命救急法講習会



6月29日(木)は、午前11時より約1時間、体育館で救命救急法講習会も開催されました。講師として、三瀨消防署の石川さんと石丸さんにご来校いただき、川や海での水の事故など、不測の事態に備えて、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の活用の仕方などについて、実技を交えながら教えていただきました。心肺停止の人に対して、その場に居合わせた人が救命処置をした場合は、救急車が来るまで何もしなかった場合と比べて、

命が助かる可能性は2倍以上だそうです。私は、これまでに何度も救命救急法講習会を受講してきましたが、時間が経つにつれて、どうしても教わったことを忘れていってしまいます。私自身、その再確認の場として、大変ためになる講習会でした。お世話してくださったPTA保健給食委員会の皆様、ありがとうございました。

## 校区ふれあい交流会での発表(3年生)

7月7日(金)、コミセンにて、校区ふれあい交流会が開催され、その中で、3年生の子どもたちが学習発表を行いました。会場の関係で、午前の部で2組が、午後の部で1組と3組が発表をしました。1学期に学んだことをChromebookでスライドを作成し、それを使って発表しました。クイズにしたり、写真や動画を取り入れたりして、分かりやすく伝えようと様々な工夫が見られました。また、リコーダーと鍵盤ハーモニカで合奏もしました。音をそろえようとみんなの心を一つにした素晴らしい合奏でした。これまでの練習の成果を見事に発揮することができ、参加されたお年寄りの方々から大きな拍手をもらっていました。自分たちが頑張ってきたことをお年寄りの方々に喜んでもらえて、子どもたちもとても満足感を味わうことができた交流会でした。

